

2009年（平成21年）7月6日

各 位

本店所在地 東京都千代田区一番町8番地  
会社名 そーせいグループ株式会社  
(コード番号 4565 東証マザーズ)  
代表者 代表執行役社長 CEO 田村 眞一  
問い合わせ先 経営管理部長 虎見 英俊  
電話番号 03-5210-3290(代表)

## RS(+)**メフロキン**(AD452)の第Ⅰ相臨床試験開始に関するお知らせ

当社グループは、当社グループの所有する**メフロキン RS(+)**異性体（当社開発コード AD452）の導出先 Treague Ltd.(以下 Treague 社)とその共同開発先である Medicines for Malaria Venture（マラリア感染の削減のために設立された在ジュネーブ NPO 組織、以下 MMV）がこの度、当該化合物の第Ⅰ相臨床試験を開始したことを、お知らせいたします。

当該試験は RS(+)**メフロキン**の安全性、忍容性および薬物動態について、ラセミ体である既存の**メフロキン**と比較検討するため、用量漸増、二重盲検、プラセボ対照にて約 100 名の被験者を対象に、英国において行われております。

**メフロキン**（ラセミ体）は効果の高い抗マラリア薬として既に承認されており、治療薬（artesunate との併用）および感染予防薬（単剤療法）として広く使用されています。有効性の高さおよび半減期の長さから臨床的意義が高いとされるものの、精神神経系への副作用等から慎重な投与が必要とされています。しかしながら、RS(+)**メフロキン**の薬理学的作用から、異性体である RS(+)**メフロキン**は有効性を保持しながら精神神経系の副作用を軽減する可能性を有していると考えられます。当社は**メフロキン RS(+)**異性体を開発コード AD452 として関節リウマチ治療目的で開発して参りましたが、第Ⅱ相臨床試験で既定の評価基準に達せず、2006 年に開発を中止、その知的財産権を 2008 年 11 月 Treague 社にライセンスしております。

当社グループ代表執行役田村眞一は次のように述べております。「Treague社とMMVが既存の治療薬に対して臨床的優位性のある、効果的な抗マラリア薬の開発に向けて臨床試験を開始したことは、年間死者100万人といわれるこの病気に対して非常に有意義なことであると思っております。」

なお、本年5月14日発表の当期連結業績予想に変更はありません。

以上

編集者の方々への追記：

### **そーせいグループ株式会社**

そーせいグループは医薬品開発に注力するバイオ医薬品企業として、独自のプロダクト・ディスカバリー（開発品創出機能）と開発戦略を有しております。既知の医薬品および医薬品候補化合物の新規用途を探索する手法により、医薬品開発に伴うリスクを低減しうるビジネス戦略を構築し、また、日本および欧米市場間の医薬品の導入・導出を通じて独自の事業展開を目指しております。

そーせいについての詳細な情報は、[www.sosei.com](http://www.sosei.com) をご覧下さい。

### **Treague 社**

Treague 社（英国、ケンブリッジ）は、2007 年に設立され、RS(+)メフロキンをマラリア治療用としては非営利目的で、また感染予防用としては商業的利用を目指して開発しております。

Treague 社についての詳細な情報は、[www.treague.com](http://www.treague.com) をご覧下さい。